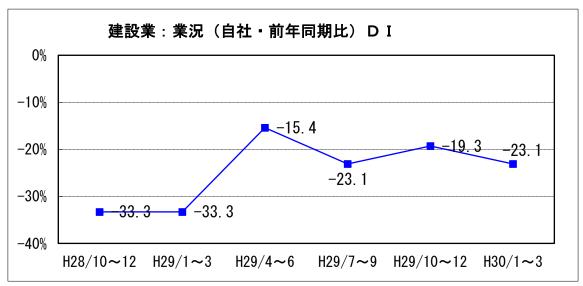
3. 建設業の動向

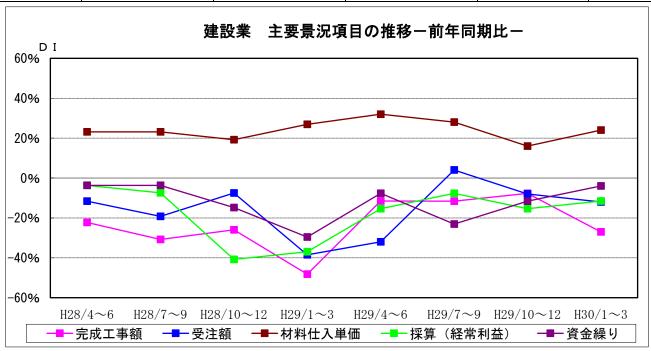
(1) 業況概要(前年同期比)

今期の業況D I 値は $\triangle 23.1$ 。前期の $\triangle 19.3$ から 3.8 ポイントの下降となった。来期見通しは、 $\triangle 19.3$ とやや上昇の見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移(前年同期比・%)

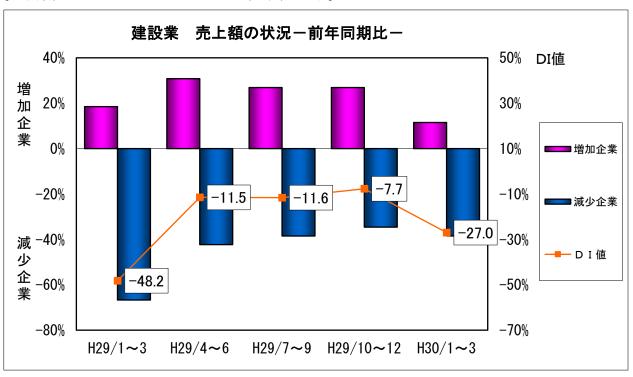
是欧木·小工女东加京自 DI 值、7 配为(的 1 因为20 70)												
	前々期	前 期(A)	今 期(B)	今期と前期の差	来期							
	(29年7月~9月)	(29年10月~12	(30年1月~3月)	(B) - (A)	見通し							
		月)										
完成工事額	▲ 11.6	▲ 7.7	▲ 27.0	▲ 19.3	▲ 23.1							
受注額	4.0	▲8.0	▲ 12.0	▲ 4.0	▲ 20.0							
材料仕入単価	28.0	16.0	24.0	8.0	0.0							
採算(経常利益)	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 11.5	3.9	▲ 15.4							
資金繰り	▲ 23.1	▲ 11.6	▲ 4.0	7.6	▲ 15.4							



(2) 主要項目の概況(前年同期比)

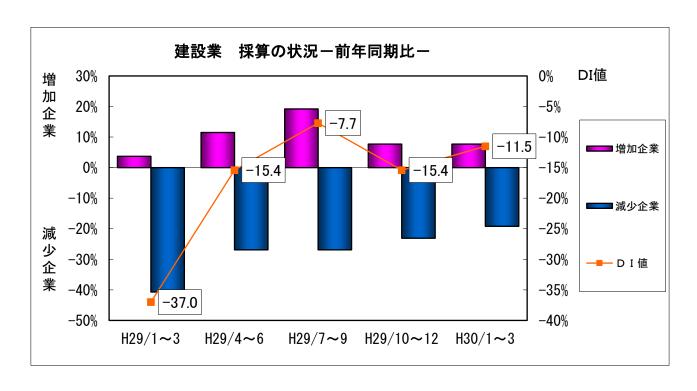
①完成工事額(前年同期比)

今期の完成工事額D I 値は $\triangle 27.0$ 。前期の $\triangle 7.7$ から 19.3 ポイントと大きく下降となった。来期見通しは $\triangle 23.1$ とやや持ち直す見込み。



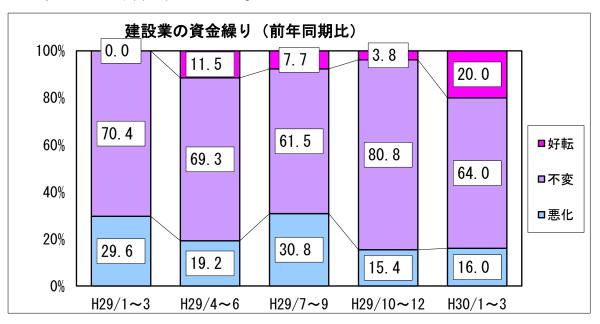
②採算(前年同期比)

今期の採算D I 値は、 $\triangle 11.5$ 。前期の $\triangle 15.4$ から 3.9 ポイントとわずかに上昇となった。来期見通しは、 $\triangle 15.4$ と下降の見込み。



③資金繰り(前年同期比)

今期の資金繰りDI値は 4.0。前期の $\triangle 11.6$ から 15.6 ポイントと上昇がみられた。来期見通しは、 $\triangle 3.4$ と下降が見込まれる。

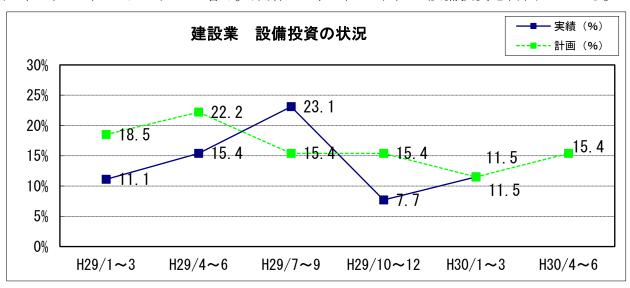


④設備投資

新規設備投資の状況

				投	資	内	容			
, b	あり	_L +1h	建物	建設	車両・	付帯	OA	福利厚	その他	なし
		土地	是 初	機械	運搬具	施設	機器	生施設	て 0 月世	
前期実施 (実数)	2	0	0	0	2	0	0	0	0	24
(%)	7.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3
今期実施 (実数)	3	0	0	1	1	0	2	0	0	23
(%)	11.5	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	88.5
来期計画 (実数)	4	1	0	1	2	0	0	0	0	23
(%)	15.4	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.6

今期設備投資を実施した企業は 3 社 (11.5%)。前期 (平成 29 年 10~12 月期) の実施企業 2 社 (7.7%) よりわずかに増加。来期は 4 社 (15.4%) が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位~三位にあげる項目は、

・「従業員の確保難」

・「民間需要の停滞」

「熟練技術者の確保難」

・ 「下請業者の確保難」

となっている。

(前期 33.3%→今期 33.3%)

(前期 28.6%→今期 28.6%)

(前期 19.0%→今期 23.8%)

(前期 19.0%→今期 19.0%)

